

SDGsとは



SDGs

筑豊からの挑戦！

筑豊でSDGsに取り組む人々
企業をご紹介します。

vol.3

「ロケット石鹸株式会社



代表取締役

加藤 謙太郎さん

昭和24年創業。生活の必需品である石鹸・洗剤等一切の洗浄剤を抜くメーカーとして700種類以上の商品を製造販売。環境への取組や地域貢献にも積極的に取り組む。

ロケット石鹸株式会社



SDGsの取り組みの詳細はこちら

インスタでも発信中



会社が存在しているのは地域のおかげ。その恩返しとしてできることをやっていく

「ロケット石鹸としてSDGsに取り組むようになったきっかけを教えてください」

当初、SDGsは敷居が高い印象から当社では無理だと思っていました。しかし、ある本の中で紹介されていた「出来ることから少しずつ」という言葉に触れ、当社も出来ることからやってみよう！と考え、本格的に取り組むことにしました。ただSDGsが目標にする活動は以前から行っていたものもあります。例えば、使用済み切手やペットボトルのキャップを集めて団体を通じて恵まれない子ども達に寄付をする活動や、地域のゴミを拾う地域清掃などです。それらの活動



日頃の感謝と恩返しの意味を込め、全職員が半日かけて地域の清掃活動を行う。

をいったん整理し、更にSDGsの目標達成に向け「出来ることから少しずつ」をモットーに7つの取組みにまとめました。

「その7つの取り組みを教えてくださいませんか？」

まず1つ目は「環境配慮型パッケージへ



厳しい審査に合格して「バイオマスマーク」を取得。環境に優しいパッケージが完成。

の取組み」です。今までも当社で作られるボトルは再生可能なペットボトルを使用していました。更に、昨年から詰め替え用パッケージの原料やインキに植物由来の資源から作られる「バイオマス製品」の使用をスタートさせ、より環境に配慮した製品作りをトライしています。2つ目はリサイクル活動です。自社で排出されるペットボトル飲料のキャップを回収して、ランタンや鉛筆、クリアファイルなどの実用性のあるモノに変えて地域の施設へ寄贈しています。3つ目は先ほどもお話しした地域清掃活動です。私たちの仕事は地域の方々の理解と協力あつてのものと考え、日頃の感謝と恩返しの意味を込めて年に1回全社員による地域の清掃活動を行っています。

4つ目は「モーダルシフトによる環境負荷低減への取組み」です。これは輸送（物流）における環境負荷低減のことで、貨物輸送の方法をトラックなどの自動車から鉄道利用に転換することで92%もCO2排出量を削減することができるところから、当社では貨物輸送を一部、環境負荷の小さい鉄道へ切り替えて全国

へお届けしています。5つ目は「太陽光パネルの設置で自家消費電力100%」です。当社では5つの工場が稼働していますが、各工場の屋根に太陽光パネルを設置することで、CO2が排出されないうるクリーンな電力を施設内で全て賄おうとする試みを行っています。今年中には実現したいと考えています。



エコキャップ運動として会社内にエコキャップ回収BOXを設置し社員全体で取り組む。

6つ目と7つ目は「飯塚国際車いすデニス大会」と「飯塚新人音楽コンクール」への支援活動です。この飯塚市を代表する文化イベントが安定し継続できるように2009年の創業60周年を機に毎年支援を行っています。

「最後にこれからの展望をお聞かせ下さい」
これからの社会を担う子ども達がいずれも不安を払拭できるよう「出来ることから少しずつ」の精神でトライし続けま。

SDGsに取り組む方
団体情報募集中!

筑豊内でSDGsに取り組む個人・団体の情報を募集しています。下記QRからご入力下さい。自薦、他薦は問いません。



NICE DAY HINT